報　道　発　表　資　料
令和2年9月6日11時30分
福　岡　管　区　気　象　台

台風第10号の今後の見通しについて

九州ではこれまで経験したことのない大雨・暴風・高潮・高波となるおそれがあり、最大級の警戒が必要です。

○広い範囲で、近年、九州に接近・上陸した台風を上回る記録的な大雨・暴風・高潮・高波となり、甚大な被害の発生するおそれがあります。

○広い範囲で大雨となり、国管理河川のような大きな河川でも氾濫の発生するおそれや、土砂災害は広い範囲で発生するおそれがあります。
令和2年7月豪雨の被災地でも再び大雨となるおそれがあります。

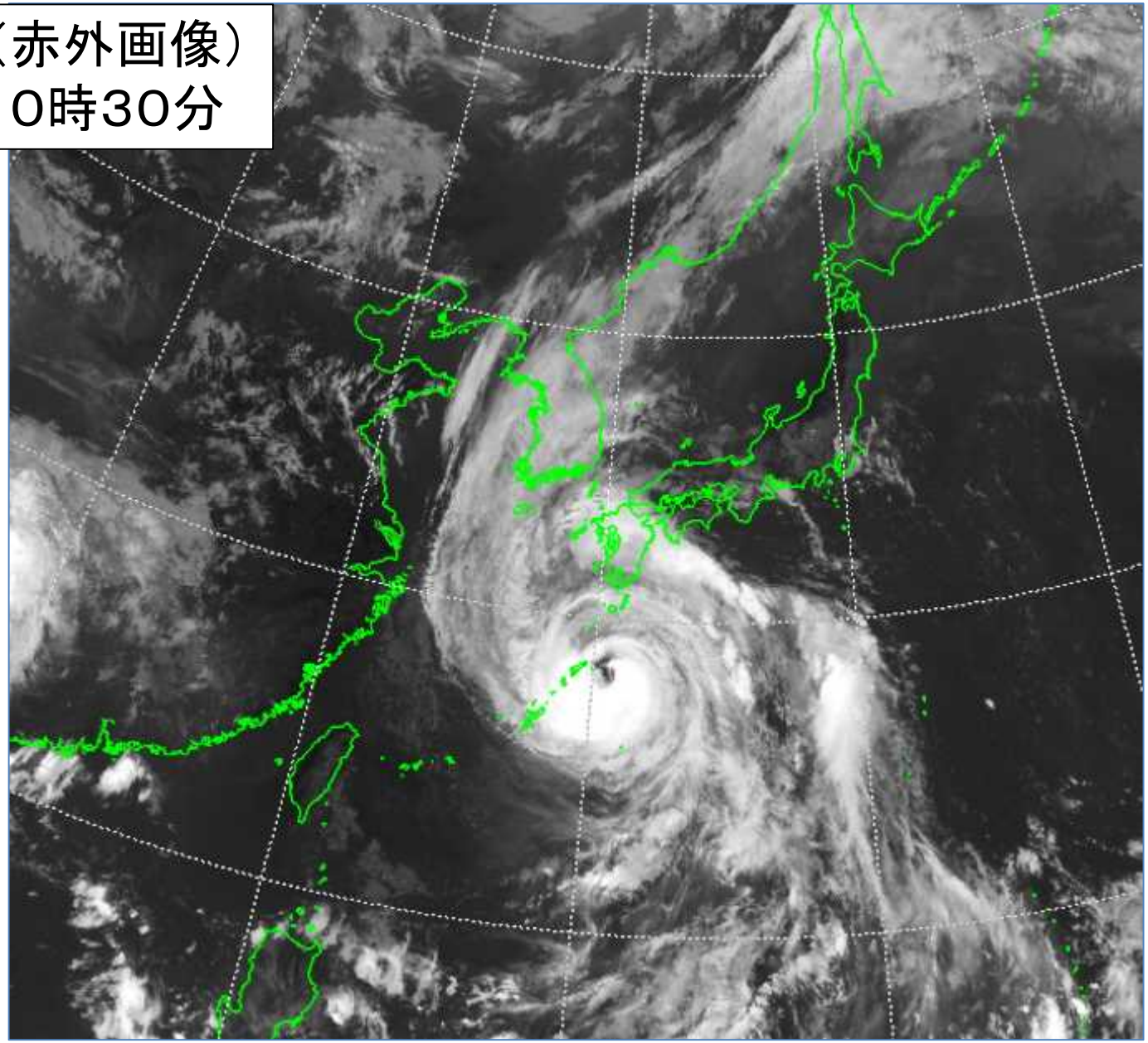
○竜巻などの激しい突風のおそれがあります。

○今後、気象台の発表する台風進路予報・警報・気象情報等に留意し、自分の命、大切な人の命を守るため、暴風が吹き始める前に、夜間になる前に、早めの対策をお願いいたします。

※お住まいの場所が安全な場所か否かハザードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所への移動のほか、安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる人は自宅の外への避難をためらわないでください。

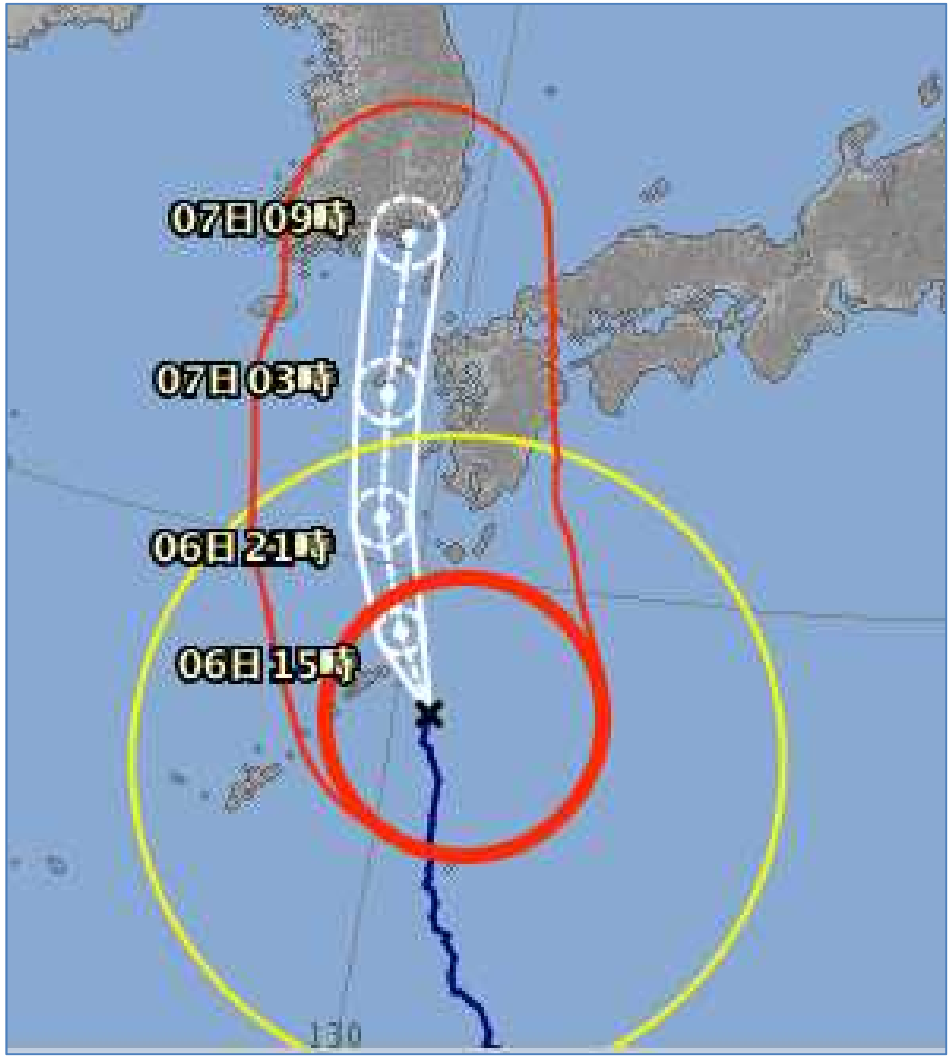
気象実況

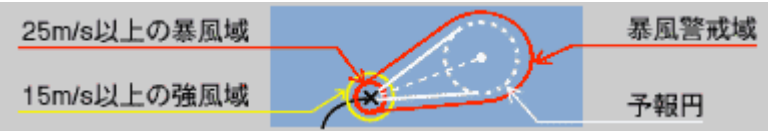
気象衛星（赤外画像）
９月６日１０時３０分



台風の見通し

台風経路図
(9月6日10時発表)





<06日10時の実況>
大きさ　大型
強さ　非常に強い
存在地域　奄美大島の東南東約110km
中心位置　北緯 28度00分(28.0度)
東経 130度30分(130.5度)
進行方向、速さ　北 20km/h(12kt)
中心気圧　925hPa
中心付近の最大風速　50m/s(95kt)
最大瞬間風速　70m/s(135kt)

<06日21時の予報>
強さ　非常に強い
存在地域　枕崎市の西南西約120km
進行方向、速さ　北北西 30km/h(17kt)
中心気圧　935hPa
中心付近の最大風速　45m/s(90kt)
最大瞬間風速　65m/s(130kt)

<07日09時の予報>
強さ　強い
存在地域　対馬市の北西約100km
進行方向、速さ　北 40km/h(21kt)
中心気圧　960hPa
中心付近の最大風速　40m/s(75kt)
最大瞬間風速　55m/s(105kt)

【大雨、暴風】 警報級の可能性

		6日				7日							
		12－15	15－18	18－21	21－24	0－3	3－6	6－9	9－12	12－15	15－18	18－21	21－24
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
大雨 （ミリ）	山口												
	福岡												
	佐賀												
	長崎												
	大分												
	熊本												
	宮崎												
	鹿児島 （奄美地方を除く）												
暴風 （メートル）	山口												
	福岡												
	佐賀												
	長崎												
	大分												
	熊本												
	宮崎												
	鹿児島 （奄美地方を除く）												

【大雨の見通し】
（6日12時−7日12時）

地域	1時間	24時間
山口	60	150
福岡	60	200
佐賀	70	300
長崎	80	500
大分	70	400
熊本	80	500
宮崎	80	600
鹿児島（奄美地方を除く）	80	500

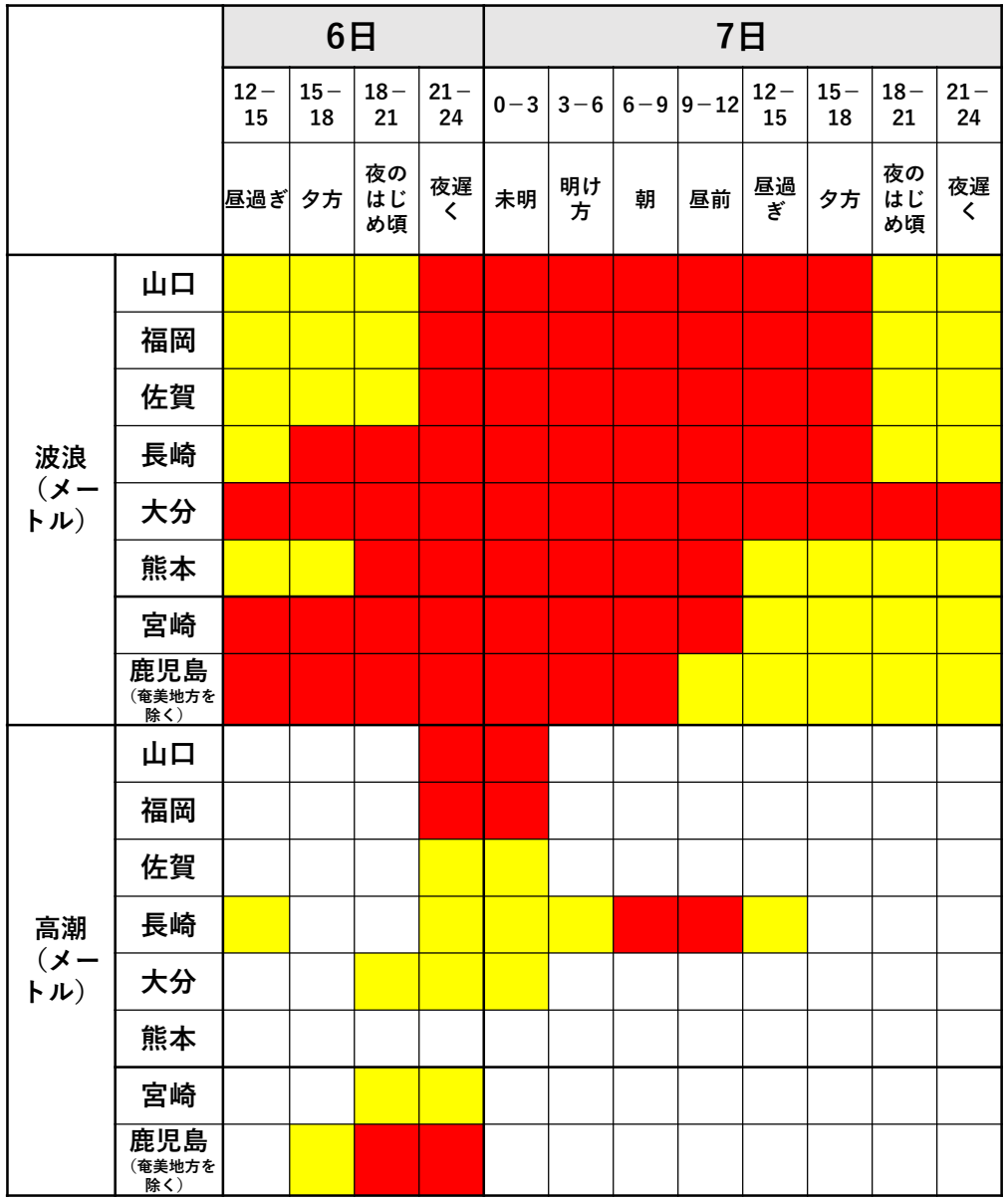
単位：ミリ

【風の予想】
（6日から7日）

地域	最大風速	最大瞬間風速
対馬海峡	40	60
九州西海上	40	60
豊後水道	25	35
瀬戸内海	25	35
有明海	30	45
陸上	30	45
宮崎	25	35
鹿児島（奄美地方を除く）	45	65

単位：メートル

【波浪、高潮】
警報級の可能性



【波の予想】（6日から7日）

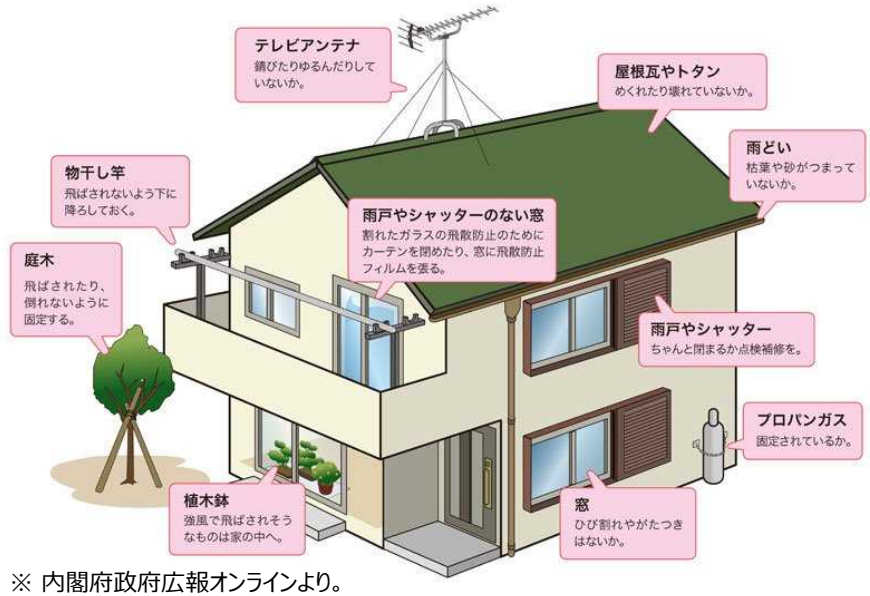
地域	波の高さ
対馬海峡	9（うねりを伴う）
九州西海上	10（うねりを伴う）
豊後水道	10（うねりを伴う）
瀬戸内海	5（うねりを伴う）
有明海	4（うねりを伴う）
宮崎	12（うねりを伴う）
鹿児島（奄美地方を除く）	14（うねりを伴う）

単位：メートル

暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速（m/s）おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速（m/s）
20～25 ～約90km/h	何かにつかまっていられないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25～30 ～約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30～35 ～約125km/h				
35～40 ～約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40～ 約140km/h～			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html）